

**【謝辞】**

本研究の作成に当たり、早稲田大学大学院教授白井哲之先生には、本当にお世話になりました。先生の日頃からの温かいお気持ちと叱咤激励のお陰で、論文をこのように完成することができ、衷心より感謝申し上げます。振り返れば、6年前に教職にありながら、地理教育史の研究を志し、中島峰広教授(当時)の紹介で、白井先生にご指導を受けることとなりました。その日から、浅学の私に対して、研究者としての基礎をお教えくださり、依然未熟ながらも何とかこのような形で論文を完成することができました。本当に感謝申し上げます。

また、お忙しい中、副査を引き受けてくださり、ご指導をいただきました、中島峰広名誉教授、宮口侗廸教授、湯川次義教授に深く感謝申し上げます。

## 【参考文献】

(あ)

- 青野寿郎「大塚学園時代の田中啓爾先生」地域研究 16-1・2, 立正地理学会, 1975。
- 青野寿郎『青野寿郎著作集Ⅶ 地理教育・自然保護』古今書院, 1986。
- 青野壽郎「地人相関論」, 日本地誌研究所『地理学事典』二宮書店, 1989。
- 浅沼茂・中野和光・山本哲士・岡崎勝・長尾彰夫・佐藤学『ポストモダンとカリキュラム』みくに出版, 1995。
- 安彦忠彦 編『カリキュラム研究入門』勁草書房, 1985。
- 阿部重孝「学科課程論」, 岩波講座『教育科学』1918。
- 阿部重孝「中学校」『阿部重孝著作集第4巻』日本図書センター, 1983。
- 天野郁夫『学歴の社会史 教育と日本の近代』新潮社, 1992。
- 鮎澤信太郎『地理学史の研究』愛日書院, 1948。
- B・アンダーソン(白石さや・白石隆訳)『増補 想像の共同体』NTT出版, 1997。
- 飯塚浩二『人文地理学説史』日本評論社, 1949。
- 飯本信之他編輯『世界地理風俗大系』新光社, 1930-31。
- 飯本信之『地理学発達史』中興館, 1940。
- 家永三郎『教科書検定』日本評論社, 1965。
- 生野真直「巡検と田中先生」地域研究 16-1・2, 立正地理学会, 1975。
- 石川謙『日本学校史の研究』小学館, 1978。
- 石田雄『明治思想史研究』未来社, 1954。
- 石田龍次郎・入江敏夫・小堀巖・馬場四郎・大村榮『地理教育の革新』同学社, 1953
- 石田龍次郎『地理学の社会化』古今書院, 1958。
- 石田龍次郎『外国と日本の地理教科書の比較調査』国際教育情報センター, 1967。
- 石田龍次郎「明治・大正期の日本の地理学会の思想的動向—山崎直方・小川琢治の昭和期への役割」地理評 44-8, 1971。
- 石田龍次郎『日本における近代地理学の成立』大明堂, 1984。
- 石附実編著『近代日本の学校文化史』思文閣出版, 1992
- 石橋五郎『日本經濟地理』富山房, 1917。
- 石橋五郎『新編世界地理』富山房, 1925(初版 1923)。
- 石橋五郎『綱要日本地理』富山房, 1924。
- 石橋五郎『新編日本地理』富山房, 1924。
- 石橋五郎『新編世界地理』富山房, 1924。
- 石橋五郎『綱要外国地理』富山房, 1925。
- 石橋五郎『正則世界地図』積善館, 1927。
- 石橋五郎編纂『史学地理学論叢 小川博士還暦記念』弘文堂書房, 1930。
- 石橋五郎他編輯『日本地理大系』改造社, 1930-33。

- 石橋五郎『新制日本地理 乙表』富山房, 1931。
- 石橋五郎『新体中等地理 外国之部 上下』富山房, 1931。
- 石橋五郎『新体中等地理 日本之部 甲表』富山房, 1932。
- 石橋五郎『新体中等地理外国之部 上下』富山房, 1933(1931年初版)。
- 石橋五郎「我が地理学観」京都帝国大学文学部地理学教室『地理論集第八輯』古今書院, 1932。
- 石橋五郎『新体中等地理 通論之部』富山房, 1934。
- 石橋五郎『新体女子地理 外国之部』富山房, 1934。
- 石橋五郎『新体女子地理 通論之部』富山房, 1935。
- 石橋五郎「我国地理学界の回顧」京都帝国大学文学部地理学教室編『地理論叢 第八輯』古今書院, 1936。
- 石橋五郎『現勢地理通論』富山房, 1937。
- 石橋五郎『現勢日本地理』富山房, 1937。
- 石橋五郎『現勢世界地理』富山房, 1937。
- 石橋五郎『現勢世界地理 修正版』富山房, 1937。
- 石橋五郎『現勢外国地理 高等女学校用』富山房, 1937。
- 石橋五郎『女子現勢地理 外国之部』富山房, 1937。
- 石橋五郎『女子現勢地理 通論之部』富山房, 1937。
- 石橋五郎『現勢地理通論 高等女学校用』富山房, 1937。
- 石橋五郎『世界現勢地理』富山房, 1937。
- 石橋五郎『人文地理學概論』地人書館, 1937。
- 石橋五郎, 村松繁樹「聚落地理學」『地理学講座』地人書館, 1937。
- 石橋五郎「人口地理学」『地理学講座』地人書館, 1937。
- 石橋五郎『現勢地理通論』富山房, 1943。
- 板倉聖宣『日本理科教育史』第一法規, 1968。
- 市川義則「1920年代後半における「日本地理」教科書の比較研究——小田内通敏講述『日本地理講義』と田中啓爾著『中等日本地理』の場合」新地理 46-3, 1998。
- 稲垣忠彦『明治教授理論史研究—公教育教授定型の形成』評論社, 1966。
- ヴィンデルバント(篠田英雄 訳)『歴史と自然科学』岩波書店, 1929。
- 内田寛一『郷土地理研究』雄山閣, 1933。
- 内村鑑三『地人論』警醒社書店, 1897。
- 梅根悟『コア・カリキュラム』光文社, 1949。
- 梅根悟監修『世界教育史体系 25 中等教育史』講談社, 1976。
- 大久保利謙『明治維新と教育』吉川弘文館, 1987。
- 大島三男『カリキュラム構成論』同学社, 1949。
- 岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院, 2002。

- 岡田俊裕『日本地理学史論 個人史的研究』古今書院，2000。
- 尾形裕康『日本教育通史研究』早大出版会，1980。
- 小川一朗「田中啓爾先生と地図」地域研究 16-1・2，立正地理学会，1975。
- 小川琢治「小学校地理学教授上の注意」『地学雑誌』11，1899。
- 小川琢治『地理学教科書 日本之部』富山房，1912。
- 小川琢治『地理学教科書 外国之部上中下』富山房，1913。
- 小川琢治『地理学教科書通論之部』富山房，1914。
- 小川琢治『中等地理学 日本之部』富山房，1921。
- 小川琢治『中等地理学 外国之部 上中下』富山房，1921。
- 小川琢治『中等地理学通論之部』富山房，1922。
- 小川琢治『人文地理学研究』古今書院，1928。
- 小川琢治『支那歴史地理研究』弘文堂書房，1928。
- 小川琢治『支那歴史地理研究 続集』弘文堂書房，1929。
- 小川琢治『新地理学 日本之部』富山房，1929。
- 小川琢治他編輯『地理学講座』地人書館，1930-33。
- 小川琢治『中等地理学 日本之部 乙表』富山房，1931。
- 小川琢治『中等地理学 外国之部 乙表』富山房，1932。
- 小川琢治『新外国地理 上中 甲表』富山房，1933。
- 小川琢治『中等新地理 概説之部』富山房，1937。
- 小川琢治『中等新地理 日本之部』富山房，1937。
- 小川琢治『中等新地理 外国之部』富山房，1937。
- 小川琢治『新日本地理 中学校用』富山房，1939。
- 小川琢治『戦争地理学研究』古今書院，1939。
- 小川琢治『一地理学者の生涯』小川芳樹，1941。
- 小川琢治『日本群島』弘文堂書房，1944。
- 小川琢治『数理地理学』宇宙物理学研究会，1948。
- 奥田真丈『教育課程の経営』〈教育学大全集 27〉第一法規，1982。
- 長田新監修『日本教育史』御茶の水書房，1961。
- 織田武雄『古代地理学史の研究ーギリシア時代』柳原書店，1959。
- 小田内通敏『郷土教育運動』郷土教育連盟，1932。

(か)

- 海後勝雄『カリキュラム研究の方法論』誠文堂新光社，1949。
- 海後宗臣『日本教育小史』日本放送協会，1940。
- 海後宗臣編『日本近代教育史』(現代教育学 5)岩波書店，1962。
- 海後宗臣ほか監修『近代教育史』(教育学全集 3)小学館，1968。

- 海後宗臣監修，日本近代教育史事典編集委員会編『日本近代教育史事典』平凡社，1971。
- 海後宗臣・仲 新・寺崎昌男『教科書で見る近代日本の教育』東京書籍，1999。
- 片岡徳雄「教科書」細谷俊夫編『新教育学大事典 第2巻』第一法規出版，1990，
- 勝田守一・中内敏夫『日本の学校』岩波書店，1964。
- 「樺山文相地方視学官会議（明治三十五年七月十一日）での演説」教育時論，1899。
- 唐澤富太郎「教科書の歴史—教科書と日本人の形成—」『唐澤富太郎著作集6』ぎょうせい  
1989。
- 唐澤富太郎『日本教育史』誠文堂新光社，1953。
- 唐澤富太郎『教科書の歴史—教科書と日本人の形成』創文社，1956。
- 唐澤富太郎『近代日本教育史』誠文堂新光社，1968。
- 木内信蔵「辻村太郎先生の逝去を悼む」地理学評論 57A-5，1984。
- 菊池利夫「内田寛一教授の歴史地理学上の位置と学風」歴史地理学紀要 I—本質と方法—，  
1959。
- 菊池利夫編『高校地理教育の原理と方法』古今書院，1976。
- 城戸幡太郎『教育学事典』平凡社，1955。
- 城戸幡太郎 編『教育課程の構造』（現代教育研究6）日本標準テスト研究会，1969。
- 教育史編纂会編修『明治以降教育制度発達史』龍吟社，1939。
- 教科書研究センター『旧制中等学校教科内容の変遷』ぎょうせい，1984。
- 京都帝国大学『京都帝国大学史』1943。
- 京都帝国大学文学部『京都帝国大学文学部三十周年史』京都帝国大学文学部，1935。
- 京都帝国大学文学部地理学教室『地理論叢』第1輯から第10輯，古今書院，1932-1939。
- 草原和博『地理教育内容編成論研究 社会科地理の成立根拠』風間書房，2004。
- 倉澤剛『近代カリキュラム』誠文堂新光社，1948。
- 倉澤剛『カリキュラム構成』誠文堂新光社，1949。
- 倉沢剛『小学校の歴史』ジャパンライブラリービューロー，1971。
- 黒川孝広「守屋荒美雄の教育観の研究—地理教科書の例言と項目比較を通して—」『吉祥女子  
子中学・高等学校研究誌』32，2000。
- 黒崎勲『現代日本の教育との能力主義』岩波書店，1995。
- 神戸高等商業学校『神戸高等商業学校一覧 大正九年九月三十日調』神戸高等商業学校，  
1920。
- 国立教育研究所編『日本近代教育百年史』国立教育研究所，1973。
- 国立教育研究所編『学制百年史』帝国地方行政学会，1974。
- 小松茂夫・田中浩編『日本の国家思想 上下』青木書店，1980。
- 近藤裕幸「戦前の中学校地図帳をとおしてみた地理教育論の展開」『早稲田大学教育学研究  
科紀要(別冊)10-1』2002。
- 近藤裕幸「田中啓爾の地理教育論に関する研究—戦後中学校地理教育論の源流としての影

- 響一」『早稲田大学教育学研究科紀要』10-2, 2003。
- 近藤裕幸「戦前中学校における山崎直方の地理教育観—中学校地理教科書記述の分析を通して—」新地理, 2004。
- 今野喜清『教育課程論』〈教育学大全集 26〉第一法規, 1981。
- (さ)
- 斎藤之誉「田中啓爾における地理区教授論の形成過程」筑波社会科学研究 第 20 号 筑波大学社会科教育学会 2001。
- 桜井明久『地理教育学入門』古今書院, 1999。
- 佐々木力『科学論入門』岩波書店, 1996。
- 佐藤保太郎『岩波講座教育科学 16・地理と教育』岩波書店, 1933。
- 佐藤秀夫『ノートや鉛筆が学校を変えた』平凡社, 1988
- 佐藤弘『最新中等外国地理』東京開成館, 1937。
- 佐藤誠実『日本教育史』文部省, 1890。〔平凡社東洋文庫〕
- 佐藤由子『戦前の地理教師—文検地理をさぐる』古今書院, 1988。
- 三省堂編纂(亀井忠一編輯)『三訂外国新地理上中下』三省堂, 1904。
- 三省堂書店『最近外国地理 上中下』三省堂, 1905。
- 志賀重昂『地理教科書外国篇 上中下』富山房, 1905。
- 柴田義松『現代の教授学』明治図書, 1967。
- 柴田義松・上沼八郎編著『教育史』学文社, 1988。
- 下村彦一「教授論」小川琢治編輯『地理学講座 8』地人書館, 1930-33。
- 新光社編集部編(小川菊松 代表)「新制最新外国地理甲表準拠 上下」新光社, 1933。
- 水津一郎「小川琢治先生とその後の日本における歴史地理学」『地理学評論』44, 1971。
- (た)
- 高橋俊乗『近世学校教育の源流』永沢金港堂, 1943。
- 高橋俊乗『日本教育文化史』同文書院, 1933。
- 竹内啓一「近代日本地理学史の一断面をみる」竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院, 1986。
- 田中啓爾「横浜の地理学的考察」地理学評論 1-3, 1925。
- 田中啓爾『多摩御陵附近の地誌』古今書院, 1927。
- 田中啓爾『中等日本地理』目黒書店, 1928。
- 田中啓爾『中学外国地理』目黒書店, 1928。
- 田中啓爾『中等外国地理 上・中・下』目黒書店, 1928。
- 田中啓爾『地理教育に関する論文集』目黒書店, 1929。
- 田中啓爾『中学外国地理』目黒書店, 1931。
- 田中啓爾『中等新日本地理 乙表』目黒書店, 1931。
- 田中啓爾『新中等日本地理 中学校 甲表準拠』目黒書店, 1932。

- 田中啓爾『中学日本地理 甲表』目黒書店, 1932。  
 田中啓爾『中等新外国地理 乙表準拠』目黒書店, 1932。  
 田中啓爾『地理教育に関する論文集 再増補版』目黒書店, 1933  
 田中啓爾「和泉山脈北部斜面及びその山麓地方の地理学的考察」『地理学論文集』古今書院, 1933。  
 田中啓爾「甲府盆地」『地理学論文集』古今書院, 1933。  
 田中啓爾『地理学論文集』古今書院, 1933。  
 田中啓爾『日本地図』目黒書店, 1935。  
 田中啓爾『外国地図』目黒書店, 1936。  
 田中啓爾『中等新日本地理』目黒書店, 1936。  
 田中啓爾『日本地図』目黒書店, 1937。  
 田中啓爾『中等新外国地理 改訂版』目黒書店, 1937。  
 田中啓爾『中等新地理概説』目黒書店, 1937。  
 田中啓爾「臨地研究の半生」大塚地理学会編『田中啓爾先生記念大塚地理学会論文集』目黒書店, 1950。  
 田中啓爾「山崎直方先生の追憶」『第三地理学論文集』田中啓爾先生謝恩記念会, 1965。  
 田中耕三「明治前半期の地図教育の実践に関する史的研究」『新地理』36-2 1988。  
 田中耕三「明治後半期の地図教育の実践に関する史的研究」『新地理』39-1 1991。  
 田中統治『カリキュラムの社会学的研究』東洋館出版社, 1996。  
 田村百代『田中啓爾と日本近代地誌学』古今書院 1984。  
 地理教授同志会『世界新地理』帝国書院, 1925。  
 辻村太郎「山崎博士と日本の地理学」『山崎直方論文集』古今書院, 1931。  
 辻村太郎『新考外国地理 甲表準拠』1936。  
 E・デュルケム(麻生誠, 山村健 訳)『道徳教育論』明治図書, 1964。  
 東京教育大学社会科教育研究会編『社会科教育の本質』明治図書, 1971  
 東京大学百年史編集委員会編『東京大学百年史』, 東京大学出版会 1984。  
 東京帝国大学編『東京帝国大学卒業生氏名録』東京帝国大学, 1926。  
 東京文理科大学『東京文理科大学閉学記念誌』1955。  
 戸倉広雅『校具及教具の研究』昭文堂, 1910。  
 鳥居美和子『明治以降教科書総合目録: 中等学校篇』小宮山書店, 1985。

(な)

- 仲新『近代教科書の成立』講談社, 1949。  
 仲新監修『学校の歴史』第一法規, 1979。  
 仲新監修『日本近代教育史』講談社, 1973。  
 仲新監修『小学校の歴史』第一法規出版, 1979。

- 仲新・稲垣忠彦・佐藤秀夫『近代日本教科書教授法集成』東京書籍，1983。
- 仲新・伊藤敏行編『日本近代教育小史』福村出版，1984。
- 中内敏夫『新版 教材と教具の理論』あゆみ出版，1990。
- 中川浩一「日本の地理教育の歩みと動向」矢嶋仁吉・位野木寿一・山鹿誠次編『現代地理教育講座第Ⅱ巻 地理教育の動向と課題』古今書院，1975。
- 中川浩一『近代地理教育の源流』古今書院，1978。
- 中島太郎『近代日本教育制度史』岩崎書店，1966。
- 中島太郎『戦後日本教育制度成立史』岩崎学術出版社，1970。
- 中野光『大正自由教育の研究』黎明書房，1968。
- 中村紀久二『教科書の社会史 明治維新から敗戦まで』岩波書店，1992。
- 中村新太郎『地学論叢：小川博士還暦記念』弘文堂書房，1930。
- 中目覚『新編世界地理教科書 上中下』三省堂，1911。
- 仲摩照久編輯『日本地理風俗大系』新光社，1929-32。
- 中村五六『中等地理』文学社，1891。
- 中村雄二郎『近代日本における制度と思想 -明治法思想史研究序説』未来社，1967。
- 西川治『人文地理学入門 -思想史的考察』東京大学出版会，1985。
- 西亀正夫『人文地理学講義』古今書院，1930。
- 西脇保幸『地理教育論序説 地球的市民性の育成を目指して』二宮書店，1993。
- 日本地理学会編『日本地理学会五十年史』古今書院，1975。
- 日本地理学会『日本地理学会 75 年史特集号』地理学評論 73-4，2000。
- 野間三郎・松田信・海野一隆『地理学の歴史と方法』大明堂，1959。
- 野間三郎『地理学のあゆみ』古今書院，1961。
- 野間三郎『近代地理学の潮流』大明堂，1963。
- (は)
- 広島大学教科教育学研究会編『教科教育学Ⅱ -教科課程論-』建帛社，1986。
- 福井好行「日本歴史地理学の展開」，日本歴史地理学研究会編『歴史地理学紀要Ⅰ』日本歴史地理学研究会 1929。
- M・フーコー〈田村俣 訳〉『監獄の誕生』新潮社，1977。
- 深谷昌志『良妻賢母主義の教育』黎明書房，1981。
- 船越源一「教科書」城戸幡太郎編『教育学辞典』岩波書店，1936。
- 別技篤彦「戦後最初の『人文地理』教科書編集の回顧」地理学評論 60-3，1987。
- 堀尾輝久『現代教育の思想と構造』岩波書店，1971。
- 堀尾輝久『天皇制国家と教育 -近代日本教育思想史研究』青木書店，1987。
- 堀松武一『日本近代教育史 -明治の国家と教育』理想社，1965。
- (ま)
- 牧口常三郎『地理教授の方法及内容の研究』目黒書店，1916。



- 町田貞「地理教育における基本概念」町田貞・篠原昭雄編『社会科地理教育講座1』明治図書, 1984。
- 松島剛『近世小地理学 外国之部』春陽堂, 1895。
- 丸山真男『日本の思想』岩波書店, 1961。
- 三浦鉄郎「八幡平の巡検」地域研究 16-1・2, 立正地理学会, 1975。
- 三澤勝衛『新地理教育論』古今書院, 1937。
- 源昌久『近代日本における地理学の一潮流』学文社, 2003。
- 三野与吉「自然地理学は滅亡せしものなりや」大塚地理学会会報, 1933。
- 守屋荒美雄『最新系統地理 中学校用外国之部 上中下』1911。
- 守屋荒美雄『最新系統地理 中学校用 外国之部 上中下』帝国書院, 1911。
- 守屋荒美雄・北村詮次郎共『教範世界地理甲表用 上下』帝国書院, 1933。
- 文部省『中等地理 1-4』文部省, 1943。
- 文部省『学制八十年史』大蔵省印刷局, 1954。
- 文部省編『学制百年史(資料編・記述編)』帝国地方行政学会, 1972。
- 文部省『日本教育史略』文部省, 1877。
- 文部省『文部省年報』1875-1890。
- (や)
- 矢嶋仁吉「地理教育者としての田中啓爾先生」地域研究 16-1・2, 立正地理学会, 1975。
- 山上万次郎編著『最近地理学教科書 外国之部 上中下』大日本図書, 1902。
- 山上萬次郎『最近統合外国地理中学校用 上中下』大日本図書, 1902。
- 山口貞雄「地理学発達史上における田中先生」地域研究 16-1・2, 立正地理学会, 1975。
- 山口幸男『社会科地理教育論』古今書院, 2002。
- 山崎直方『地文学教科書』金港堂, 1898。
- 山崎直方「氷河果して本邦に存在せざりしか」1902, 山崎直方論文集刊行会『山崎直方論文集前編』古今書院, 1931。
- 山崎直方『普通教育地理学教科書 地理学各論 外国誌 上中下』東京開成館, 1903。
- 山崎直方『外国地誌 上中下』開成館, 1905。
- 山崎直方『普通教育外国地理教科書』開成館, 1905。
- 山崎直方『普通教育世界地理 上中下』東京開成館, 1905。
- 山崎直方『普通教育地理学教科書 地理学各論 外国誌』東京開成館, 1905。
- 山崎直方『普通教育外国地図』開成館, 1906。
- 山崎直方『普通教育世界地図』開成館, 1906。
- 山崎直方『修訂普通教育日本地理教科書』開成館, 1908。
- 山崎直方『普通教育地理学教科書(地理学各論, 日本地誌)』開成館, 1908。
- 山崎直方『普通教育日本地理』開成館, 1908。
- 山崎直方『普通教育日本地図』開成館, 1909。

- 山崎直方『普通教育 日本地理教科書』東京開成館，1910。
- 山崎直方「地理学説の進歩と中等教育」1914，山崎直方論文集刊行会『山崎直方論文集後編』，古今書院，1931。
- 山崎直方『普通教育提要地理学通論』開成館 1915。
- 山崎直方「時代と地理学」1918，山崎直方論文集刊行会『山崎直方論文集後編』古今書院，1931。
- 山崎直方「国民教育に於ける地理学」1919，山崎直方論文集刊行会『山崎直方論文集後編』，古今書院，1931。
- 山崎直方『新制綱要地理学通論』東京開成館，1924。
- 山崎直方『新制日本地理』東京開成館，1924。
- 山崎直方『日本地理綱要』東京開成館，1924。
- 山崎直方『新制世界地理 上中下』東京開成館，1924。
- 山崎直方『世界地理綱要』東京開成館，1924。
- 山崎直方，辻村太郎補訂『新制外国地理 乙表』東京開成館，1924。
- 山崎直方，辻村太郎補訂『新制日本地理 甲表』東京開成館，1924。
- 山崎直方，辻村太郎補訂『新制外国地理 甲表』東京開成館，1924。
- 山崎直方『新制日本地図』東京開成館，1926。
- 山崎直方『新制世界地図』東京開成館，1926。
- 山崎直方，辻村太郎補訂『新制日本地理 乙表』東京開成館，1926。
- 山崎直方，辻村太郎補訂『新制地理学通論』東京開成館，1926。
- 山崎直方『普通教育日本地理』開成館，1926。
- 山崎直方『新制日本地理 修正 15 版』開成館，1937。
- 山住正己『日本教育小史』岩波書店，1987。
- 山住正己『教育の体系』岩波書店，1990。
- 山田道人「成田市における門前町の変容——田中啓爾の論文と比較して」地理，1987。
- 山本幸雄『地理教育史』古今書院，1958。
- 吉川虎雄「山崎直方先生と変動地形の研究」『地理学評論』44(8)，1971。
- 米田俊彦『近代日本中学校制度の確立 法制・教育機能・支持基盤の形成』東京大学出版，1992。
- (ら)
- 六盟館編集所『修訂外国新地理 上中下』六盟館，1905。
- (わ)
- 脇水鉄五郎『地理教科書 外国』金港堂，1903。
- 渡辺正雄『日本人と近代科学』岩波書店，1976。
- (筆者不明)
- 「地方視学官会議」『教育時論』開発社，1899。

## 【図表一覧】

- 第 2-1 図 小学校の学校数と児童数の変遷(1873～1943 年)  
 第 2-2 図 教育史・地理教育制度史の時期区分図 (1872～1945 年)  
 第 2-3 図 中学校数と生徒数の変遷(1873～1943 年)  
 第 2-1 表 中学校授業時数比較表 (週平均授業時数)  
 第 2-2 表 「中学校教授要目」(1902 年)  
 第 2-3 表 「中学校教授要目」 教授上ノ注意(1903 年)  
 第 2-4 表 中学校教授要目(1911 年)  
 第 2-5 表 中学校規程 第一号表(1943 年)
- 第 3-1 図 地理教科書発刊数(初版のみ)  
 第 3-2 図 中学校数と生徒の変遷(1873～1943)  
 第 3-1 表 北亜米利加州の図表・絵写真数の比較  
 第 3-2 表 1933 年発刊の教科書の洲別頁数  
 第 3-3 表 小川と田中の教科書比較
- 第 4-1 図 著者別による 1910～30 年代にかけて出版された地理教科書・附図の発刊数(初版のみ)  
 第 4-2 図 著者別による 1920～40 年代にかけて出版された地理教科書・附図の発刊数(初版のみ)
- 第 5-1 図 1900 年以後で版を重ねた中学校地理教科書一覧  
 第 5-1 表 山崎直方の学術論文と教科書  
 第 5-2 表 中村五六編纂『中等地理』[1891] の目次とページ数  
 第 5-3 表 松島剛著『近世小地理学 外国之部』[1895] の目次とページ数  
 第 5-4 表 山上万次郎編著『最近地理学教科書 外国之部 上中下』の目次とページ数  
 第 5-5 表 山崎直方が著した中学校地理教科書  
 第 5-6 表 『普通教育地理学教科書 地理学各論 外国誌 上中下』[1905] と『新制世界地理 上中下』[1924] (1928 年 4 訂版を参照)の目次
- 第 6-1 図 日本地理 直観教材の 1 頁あたりの個数  
 第 6-2 図 外国地理 直観教材の 1 頁あたりの個数  
 第 6-1 表 小川琢治の主な経歴・業績一覧  
 第 6-2 表 小川琢治が著した中学校地理科教科書一覧 (1912～1939 年)  
 第 6-3 表 1914 年『地理学教科書 通論之部』の目次  
 第 6-4 表 1930 年代中学校地理科教科書の直観教材数の比較

第 6-5 表 小川教科書の例言にみられる用語

第 7-1 表 1924～1943 年までの石橋の主な地理学論文と石橋著作中等教育地理教科書一覧

第 8-1 表 田中啓爾の略歴と主な業績一覧

第 8-2 表 田中の地理教育論文にみられる用語一覧

第 8-3 表 戦前に田中啓爾が著した地理教科書・地理附図一覧

第 8-4 表 田中の教科書の例言に見られる用語一覧

第 8-5 表 地理科教科書にみる直観教材の比較

第 9-1 表 石橋『地理教育論』と田中『地理教育に関する論文集』の目次の比較

第 10-1 図 中学校教員数の推移

第 10-2 図 臨時教員養成所の学校数と生徒数の推移

第 10-1 表 外国地理教科書 目次一覧

第 11-1 図 中学校地理教育成立過程と地理学研究者の関係

第 11-2 図 第 11-2 図 地理教育制度史と地理教育論史との時期区分の関係